

2007 年

Leuven University Press (ベルギー・リューヴェン大学出版社)

The Origins of Banana-fibre Cloth in the Ryukyus, Japan

(琉球列島における芭蕉布のルーツ) 和訳

カトリーヌ・ヘンドリックス

目次

謝辞 (省略)

目次

図・絵のリスト (省略)

予備解説 (省略)

日本語のローマ字表記、琉球語・沖縄語及び専門用語の定義について

序章 (本サイトでこれを最初に訳した「研究調査結果」で述べているので、省略)

芭蕉布に関するこれまでの研究と現在の知識の状況、研究の目的・疑問・方法、現地調査と技術的専門知識、研究の制限について

第 1 章：歴史的背景 (纏め)

1.1. 琉球列島の地理的位置、気候と植物相

1.2. 琉球・沖縄の歴史と一次資料の紹介

1.2.1. 先史時代における琉球列島

1.2.2. 古琉球

(主な項目：「グスク〔城〕時代」、「三山統一」、「大交易時代」)

1.2.3. 近世琉球 (1609-1879)

(主な項目：薩摩藩の琉球侵攻、琉球王国の初めての正史『中山世鑑』、琉球の自己意識の目覚め、近世琉球の内部転換、琉球侵攻後の先島諸島、近代琉球に関する海外の学術論文、琉球列島に対する西欧諸国の興味、19 世紀中ごろの奄美諸島、「琉球処分」)

1.2.4. 近代沖縄 (1879-1945)

(主な項目：大正時代に生まれる沖縄出身の学者、戦前の沖縄と日本民芸協会、「沖縄の戦い」)

1.2.5. 現代沖縄 (第二次世界大戦後)

(主な項目：米軍制御 (1945-1972) と「沖縄の復帰」、「沖縄振興開発計画」)

第 2 章：資料のレビュー

2.1. 琉球列島における染織に関する資料

2.1.1. 琉球列島における衣服と織物に関する最初の文献資料

2.1.2. 琉球の織物技術の歴史の中の紡績繊維

2.1.2.1. 苧麻 (命名法と形態学的種、文献資料に基づいた証拠)

2.1.2.2. 糸芭蕉 (命名法と形態学的種、文献資料に基づいた証拠)

2.1.2.3. 絹（命名法と形態学的種、文献資料に基づいた証拠）

2.1.2.4. 木綿（命名法と形態学的種、文献資料に基づいた証拠）

2.2. 琉球列島における芭蕉布に関する資料

2.2.1. 琉球における芭蕉布織りの始めに関する琉球資料

2.2.1.1. 「生熟夏布」とはどういう織物なのか

2.2.1.2. 「生熟夏布」が載っている文献資料

2.2.2. 芭蕉布と糸芭蕉の用途に関する資料

2.2.2.1. 外交関係で使われた芭蕉布

2.2.2.2. 芭蕉布衣

（朝服〔官服〕としての芭蕉布、民俗衣としての芭蕉布）

2.2.2.3. 糸芭蕉と芭蕉布の特別な用途

（納税の芭蕉布と糸芭蕉、通過儀礼の芭蕉布、市場の製品としての芭蕉布、芭蕉紙）

2.2.3. 芭蕉布織りの製作工程に関する資料

2.2.3.1. 奄美の神詞「バシヤながれ」

2.2.3.2. 芭蕉布織りの製作工程に関する文献資料

（準備作業、芭蕉布織り、芭蕉布の織柄、「絹芭蕉布」の仕上げ）

2.2.3.3. 染料、染色技法と染柄

第3章：東アジアと東南アジアで Musa 類から得られた繊維の織物について

3.1. 糸芭蕉と芭蕉布織りの起源に関するこれまでの定説

3.1.1. 植物学的視点から見た、琉球における糸芭蕉の起源

3.2. 東アジア・東南アジアで Musa 類から得られた繊維の織物に関する資料

3.2.1. フィリピン諸島にて

3.2.1.1. フィリピンの織物

3.2.1.2. フィリピンで Musa 類から得られた繊維の織物に関する中国の文献資料

3.2.1.3. フィリピンで Musa 類から得られた繊維の織物に関する西洋の文献資料

3.2.1.4. 19世紀と20世紀初期の「マニラ麻」のブームとダバオ地方の日本人社会

3.2.1.5. 19世紀後半からのミンダナオ島のアバカ繊維の衣類

3.2.1.6. フィリピンで Musa 類の繊維で作られた織りの製作工程

3.2.2. マレーシアにて

3.2.2.1. マレーシアの織物の歴史の概要

3.2.3. インドネシアにて

3.2.3.1. インドネシアの織物に使われている素材

3.2.3.2. インドネシアで Musa 類の繊維で作られた織り

3.2.4. 台湾にて

3.2.4.1. 台湾での織物

3.2.4.2. 台湾で Musa 類の繊維で作られた織りについて

3.2.5. 中国南部にて

3.2.5.1. 東南アジア諸国と中国の早期の交流

3.2.5.2. 中国の織物の素材

3.2.5.3. 中国南部での Musa 類の繊維で作られた織物に関する文献資料

(中国南部で織物に使われた Musa 類とその製作工程に関する早期の文献資料)

第 4 章：琉球列島における現在の芭蕉布織りについて

4.1 早期の現地調査

4.2 平良敏子さんと喜如嘉での芭蕉布織りの回復

4.3 「日本の重要無形文化財」として芭蕉布

4.4 芭蕉布の物質的証拠

4.4.1 今昔の庶民の芭蕉布

4.4.2 神女と士族階級に属する者の衣服

4.5 現在の芭蕉布織り製作工程

4.5.1 糸芭蕉の成長条件と栽培

4.5.2 芭蕉糸作りの作業工程

4.5.2.1 うー剥ぎ

4.5.2.2 うー炊き

4.5.2.3 うー引き

4.5.2.4 うー績み

4.5.3 現在の芭蕉布織り

4.5.3.1 芭蕉糸の経糸準備

4.5.3.2 芭蕉糸の経巻

4.5.3.3 芭蕉糸の綜統通し

4.5.3.4 芭蕉布の織り

4.5.4 芭蕉布の仕上げ

4.5.5 芭蕉布の柄

4.5.5.1 緋織りの技法を用いた芭蕉布の模様

4.5.5.2 芭蕉糸を用いた首里花織

4.5.5.3 芭蕉糸を用いたロートン織り

4.5.5.4 紅型の染色技法を用いた芭蕉布

4.5.6 芭蕉布に使われる染料

4.5.6.1 琉球藍

4.5.6.2 シャリンバイ（車輪梅）

4.5.6.3 その他の染料

4.6 糸芭蕉の効用

4.6.1 糸芭蕉と苧麻の比較

研究調査結果

参考文献

追加資料 1

(琉球の位階制度について、位階制度表、首里王府の組織表)

追加資料 2

- ① 『歴代宝案』 1 集 37 巻 27
- ② 「バシヤナガネ」
- ③ 『与世山親方八重山嶋農務帳』 よりの引用文
- ④ 『南島雑話』 よりの引用文

追加資料 3

(図と絵)